

愛知県広域緑地計画 中間評価（概要版）

◆愛知県広域緑地計画の概要

- ・愛知県広域緑地計画は、環境保全、防災・減災、生物多様性の確保、景観形成、レクリエーション等の緑の持つ機能を踏まえ、都市計画区域の緑に関する計画や目標を12項目の指標により示すものです。
- ・2019（平成31）年3月に改定し、計画期間は2019年度～2030年度です。
- ・計画の理念

豊かな暮らしを支える あいちの緑づくり
～緑の質を高め 多様な機能を活用～

◆中間評価について

- ・本計画に位置付けられた施策は、PDCAサイクルに基づき進行管理を行うことにしています。
- ・今回、計画における**施策の進捗状況を確認**した上で、**施策が進んでいない場合は、その要因を分析し、必要に応じて計画の見直しや施策の改善を図るため、中間評価を実施**しました。

◆中間評価の方法

- ・本計画においては、施策の評価・改善を適切に図っていくために**全12項目の指標を設定**しています。今回の中間評価では、この指標の2024年度時点における**現況値を確認**することで、**計画全般の進捗状況**を評価しました。

◆中間評価結果

- ・指標は、「目標値を上回る」が3項目、「目標値に向けて進捗中」が6項目、「当初値を下回る」が3項目となり、**12項目中9項目が進捗**しています。
- ・このことから、**計画全般として概ね順調に進捗**しているものと評価できます。そこで、指標が順調な施策は継続し、進捗が緩やかな施策は一層の進捗に努めます。また、当初値を下回る施策については、目標値を再設定した上で目標達成を図ります。

評価	目標値を上回る	目標値に向けて進捗中	当初値を下回る
項目数	3項目	6項目	3項目

◆個別指標の進捗状況

指標	項目	当初値	将来目標値	中間値	今後の取組方針
①	県営公園における生物多様性の保全再生活動の数	540回/年	600→720回/年	713回/年	取り組みを継続
②	生物多様性に関する事項が記載されている緑の基本計画の数	30市町	49市町	37市町	一層進捗に努める
③	緑地の確保や創出面積	43.8ha/年	46ha/年	35.0ha/年	一層進捗に努める
④	広域防災活動拠点となる公園の供用面積	618ha	730ha	688ha	取り組みを継続
⑤	都市緑化普及啓発イベントの数	217回/年	240→290回/年	290回/年	取り組みを継続
⑥	住まいの周辺の緑を多いと感じる人の割合	69.1%	75.0%	70.6%	一層進捗に努める
⑦	歩いて行ける公園の人口カバー率	86.2%	90.0%	88.4%	取り組みを継続
⑧	県営公園における利用者数	686万人/年	720→890万人/年	847万人/年	取り組みを継続
⑨	公園の管理・運営に参画している協議会等の数	6団体	12団体	9団体	取り組みを継続
⑩	地域の特性を活かし民間活力により魅力を高めた県営公園の施設の数	2施設	7施設	3施設	一層進捗に努める
⑪	県営公園のリピーター割合	79.2%	85.0→50.0%	47.8%	目標値を再設定
⑫	県民参加緑づくり事業の参加人数	142,077人(6年間)	284,000→258,000人(12年間)	116,218人(6年間)	目標値を再設定

※将来目標値に数値が2つあるものは、それぞれ見直し前と見直し後の目標値

◆当初値を下回った指標（3項目）の要因等の分析

□緑地の確保や創出面積

- ・緑地の増加面積は、大規模な供用の有無などにより年度ごとのばらつきがあります。
- ・近年では、人口減少を見据えた既存ストックの活用も重視されているため、新規供用のペースが緩やかになっていると考えられます。

□県営公園のリピーターの割合

- ・県営公園の利用者数は増加しており、都市の緑に触れる県民の数が増加していることを示しています。
- ・今後も、県民の皆様を始め多くの方に来園いただける県営公園を目指します。

□県民参加緑づくり事業の参加人数

- ・コロナ禍において、多人数の集まる各種イベントの中止や、規模縮小の影響を大きく受けたと考えられます。